

## (公社) いわき青年会議所 専務理事 意見書

専務理事 齊藤 和治

1 我々は、「ほかのどのまちにもない、誇りを持てるたった一つのいわきを創り上げたい」  
2 その創始の想いを受け継ぎ、多くの汗を流し、情熱をもって運動を展開してまいりました。  
3 しかし、近年のいわきJCは、平均在籍年数が短期間化し、経験の不足に伴って組織力の  
4 低下による危機的状況に向かっています。その危機的状況を打開し、前向きにチャンスと  
5 捉え、今こそ伝統と挑戦が調和する進化した組織へ変革していかなければなりません。  
6 まずは、いわきJCの運動が、「明るい豊かな社会の実現」を使命とし、次代の担い手  
7 である我々が責任を持って行動するために、組織の在り方や規則などをよく理解して、会  
8 の運営に必要な知識の習得に努め、業務執行理事として、理事長が示す運動のコンパスと  
9 なるべく、公益法人格の維持・継続と財務体制の管理、コンプライアンスの取り決めをし  
10 っかりと強化してまいります。そして、事業計画から事業報告まで適切に予算が執行され  
11 ているかを見定めるために、いわきJCが行う全ての事業に参画し、会の基盤をなす公益  
12 性や透明性のある財務運営をより一層進め、しっかりと事業本来の目的を検証するととも  
13 に、その議論が行われる各種諸会議をスムーズに運営いたします。また、各委員会や出向  
14 者と連携を図り、個々の負担が少なくなるようにサポートすることで、信頼関係を強化し、  
15 組織全体のバランスを保つことに繋げるとともに、日本JC本会を始めとする行政や関係  
16 諸団体との連携を図り、各種事業や支援活動に参画することで、私たちが得られる気づき  
17 や学びなど、お互いに刺激と影響を受けるように、会員の意識改革を進めてまいります。  
18 これまでの弛まぬ前進を止める事なく学びと実践により進化を重ね、今後の組織運営の  
19 在り方を見出す事が、目前の困難を乗り越えるための会員一人ひとりの確かな自信と勇気  
20 に繋がり、我々の行う心が通う運動がたくましい「いわき」の創造へ繋がると確信します。